

「コンテナへのヒアリ侵入防止等に係る事業者への協力依頼について」

(環境省から国交省あて依頼文書一部抜粋)

本年6月に入り、これまでにないペースで中国を出港した貨物又はコンテナからのヒアリの確認が続いています。また、重症化はしていませんが、作業員がヒアリに刺される事案も発生しました。つきましては、下記のとおりヒアリの確認情報及び注意点をお知らせしますので、各事業者への協力依頼を改めて周知いただきますようお願いいたします。

記

1. 令和2年度のヒアリ確認状況

確認地点	公表日	確認状況	個体数	女王等	出港地
茨城県常総市	4月30日	事業者敷地内 (コンテナ内)	約10	--	中国 厦門港
神奈川県横浜市 南本牧ふ頭	6月11日	空コンテナヤード (コンテナ内)	約300	女王20	中国 黄浦港
神奈川県横浜市 本牧ふ頭	6月11日	コンテナヤード (地面)	多数	--	--
東京都江東区 青海ふ頭	6月19日	コンテナヤード (地面)	200以上	--	--
千葉県千葉市 千葉港中央地区	6月23日	貨物船内	1,000以上	女王1、 幼虫、卵	中国 厦門港
神奈川県川崎市	6月24日	事業者敷地内 (コンテナ内)	数百	女王20	中国 蛇口港

2. 作業時の安全確保について

<ヒアリと疑われるアリ類が発見された場合>

ヒアリと疑われるアリ類が発見された場合、まずは刺激を避けつつ、コンテナのどの箇所にどの程度の生存個体がいるか等、状況を確認してください。

多数の生存個体の集団がいる（予想される）場合は、コンテナの扉を閉めて逃げ出さないよう静置してください。その上で、関係機関（環境省地方環境事務所、地方公共団体、港湾管理者等）に速やかに連絡し、取扱いについて相談してください。可能であれば、強粘着の布ガムテープでコンテナの目張りをするなど、アリが逃げ出さないよう対応してください。アリ類が少数しかおらず、逃げ出す恐れのない場合は、市販のスプレー式殺虫剤等でその場で駆除してください。

<ヒアリに刺されないための対策例>

- ・長袖や厚手のゴム手袋を着用する。
- ・長靴を履く（長靴に虫除けスプレーを塗布するとより安全）、又はヒル避けの足袋で足首などを包み、その上から靴を履く。
- ・ヒアリの採集が必要な場合は、ハンディ掃除機を使用するなど、極力素手での作業を避ける。

<ヒアリに刺された場合の対処例>

- ・体調に変化がなくても、刺された部位を冷やしながら、20分～30分程度は安静にし、誰かが様子を見られる状況に置く。
- ・アレルギー体質が疑われる人は、じんましんが現れることがあるので、異常を感じた場合にはすぐに医療機関を受診する。
- ・呼吸困難・血圧低下・意識障害などが現れたら、救急車を呼ぶなどして速やかに医療機関を受診する（「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーショックの可能性があること」を伝える）。
- ・軽微な皮膚症状のみの場合は、虫刺され用ステロイド入り軟膏などを塗る（化膿などを予防するため）。



赤くて大きい
背中の2つのこぶが特徴

参考：全ト協ホームページアドレス「ヒアリ関連」

<http://www.jta.or.jp/info/hiari201804.html>

以 上